

●実務経験のある教員等による授業科目

総合エンタテインメント・大学科
サウンドクリエイターコース 通信制専攻

	科目	1年	2年	3年	4年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全 科 共 通 科 目	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ	54	51	51	51	必修	講義	○	207
	デビュー・就職実務Ⅰ	80				必修	講義		－
	デビュー・就職実務Ⅱ		53			必修	講義		－
	著作権		19			必修	講義		－
	PC実習	54				必修	講義		－
	選択授業	34	34	34	34	必修	講義		－
	異文化研究	15	15			必修	講義		－
	イベント制作実習A	129	118	118	118	必修	実習	○	483
	イベント制作実習B	311	311	311	311	必修	実習	○	1244
専 門 科 目	MIDI概論	34				必修	講義	○	34
	作曲編曲実習Ⅰ	36				必修	実習	○	36
	作曲音楽理論Ⅰ	34				必修	講義	○	34
	作曲音楽理論Ⅱ／和声学		36			選択必修	講義	○	36
	楽曲制作実習Ⅰ	34				必修	実習	○	34
	楽曲制作実習Ⅱ		36			必修	実習	○	36
	ミキシング実習Ⅰ	36				必修	実習	○	36
	ミキシング実習Ⅱ		36			必修	実習	○	36
	楽曲アナライズⅠ	36				必修	実習		－
	楽曲アナライズⅡ		36			必修	実習		－
	メロディメイキングⅠ	36				必修	実習	○	36
	メロディメイキングⅡ		34			必修	実習	○	34
	アレンジメント		34			必修	実習	○	34
	シンセサイザー概論		34			必修	実習	○	34
	選択必修※「選択必修科目一覧表」参照			301	301	選択必修	科目による	科目による	－
合計	総授業時間数	923							
合計	総授業時間数		847						
合計	総授業時間数			815					
合計	総授業時間数				815				合計
卒業時最少時間		3400							2354

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	51 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		前期・後期	
			必修	
対象学年	1	年	総授業時間	80 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。 また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定			
------	---	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ
3	第1編1章 メールについて①
4	第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方①
5	第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明
6	第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明
7	第2編1章 コミュニケーション、敬語
8	第2編2章 コミュニケーション、敬語
9	第2編3章 ビジネス文書(社内・社外)、グラフ
10	第3編1章① 特別講師による講義・レポート提出
11	第3編1章② 特別講師による講義・レポート提出
12	第3編2～5章 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
13	ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出
14	ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
16	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
17	第3編2級課題慶事のマナーなど① 特別講師による講義・レポート提出
18	後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出
19	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導
20	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	53 時間
対象学科	全学科	対象コース	全コース	

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望：【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。 就職志望：I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 就職志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）
4	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）と提出
5	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望：履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望：①【活動報告書】の作成と提出 就職志望：①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望：オーディション対策（自己PRの練習） 就職志望：面接対策（自己PR、志望動機の練習）
9	アーティスト志望：個別面談・フィードバック 就職志望：個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など 就職志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	「コミュニケーション検定」補講・検定
12	アーティスト志望：②【活動報告書】の作成と提出 就職志望：②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：②面接対策（自己PR、志望動機の練習）
15	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）
16	アーティスト志望：③【活動報告書】の作成と提出 就職志望：③【活動報告書】の作成と提出
17	アーティスト志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
18	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	141 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	283 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	126 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	288 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	MIDI概論		実務授業の有無	○
担当講師	横山 喜次		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	MIDI検定は1999年の第1回試験以来、これまでの著しい技術進歩により音楽制作の現場において、MIDIに加え Audio の知識が必須の状況となっている。このためMIDI検定3級ではMIDIの知識に加え、実際の音楽制作現場で必要とされるコンピュータやDAWの知識と楽典やデジタルオーディオに関する知識を有しているかを試されるものとなっている。 この授業を通じて、今後の音楽制作のためのMIDIの知識習得と共に本検定取得を目指す。			
------	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業オリテ(学習の目当て、進行方法などの説明)。「音楽再生」と「音楽制作」の歴史、PCに関する知識(1)
2	PCに関する知識(2)、小テスト(1)
3	音楽制作にまつわるその他のハードウェア、ケーブルとコネクタの種類、MIDIの基礎知識、小テスト(2)
4	チャンネル・ボイス・メッセージ(1)
5	チャンネル・ボイス・メッセージ(2)、小テスト(3)
6	チャンネル・ボイス・メッセージ(3)
7	GM音源とスタンダードMIDIファイル、小テスト(4)
8	デジタルオーディオ、オーディオフォーマット、小テスト(5)
9	過去問による模擬試験(1)
10	MIDI検定3級試験範囲講義(1)
11	過去問による模擬試験(2)
12	MIDI検定3級試験範囲講義(2)
13	過去問による模擬試験(3)
14	MIDI検定3級試験範囲講義(3)
15	過去問による模擬試験(4)
16	MIDI検定3級試験範囲講義(4)
17	過去問による模擬試験(5)
18	
19	

教科書等	ミュージッククリエイターハンドブック MIDI検定WEBサイト上の過去問題 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業内で行われる小テスト、過去問の結果及びMIDI検定3級試験結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。 音楽電子事業協会主催 MIDI検定1級ライセンサー 同協会MIDI検定認定指導者

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲編曲実習		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	DTMでの音楽制作に取り組んでもらうため、DAWにおける音源制作の一通りの作業を理解し習得してもらう。DAWの基礎知識や必要な機材について紹介し、音楽の3要素を意識した作曲の心構えや、メロディー作りのポイントであるモチーフ、フレージングについて講義を行う。その後、MIDI打ち込みによるメロディー制作やコード進行制作の演習を行う。避けては通れない、必要最低限の基本的な音楽理論も扱う。各自がオリジナル楽曲の音源を制作できるようになる事が目標である。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／DTM・DAWの基礎知識と音楽制作フローについて／DTMに必要な機材とは
2	作曲の手法、メロディーの作り方／モチーフとフレーズ／キーとスケール
3	メロディー制作実習
4	ハーモニー：コードの基礎知識、コード進行の制作
5	コード進行制作実習
6	リズム：リズムの概念と種類、リズムアレンジ
7	リズム(ドラムビート)制作実習
8	オリジナル楽曲制作①
9	後期授業概要説明、ガイダンス／プロユースのDTM機材とソフトウェア・プラグインについて
10	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／①ベース・アレンジ
11	①ベース・アレンジ実習
12	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／②ドラムス・アレンジ
13	②ドラムス・アレンジ実習
14	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／③-1エレクトリックギター・アレンジ
15	③-1エレクトリックギター・アレンジ実習
16	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／③-2アコースティックギター・アレンジ
17	③-2アコースティックギター・アレンジ実習
18	オリジナル楽曲制作③
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲音楽理論Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	作曲・編曲に必要なハーモニー・スケールの基礎を習得し、メロディーやアレンジのアプローチを学ぶ。 音楽の構造を理解することにより既存曲のアナライズ等、音楽研究が出来るようになり楽曲制作のクオリティを向上させる。			
------	---	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽理論とは何か 音楽理論を学ぶ必要性 授業の趣旨
2	メジャースケールとキー インターバル(音の距離)
3	インターバル確認 基本コードの構造(3和音)
4	3和音の確認 基本コードの構造(4和音)
5	4和音の確認 コードの構造(応用)
6	コードの構造確認 コードの転回
7	キーと調号 ダイアトニックコード
8	ダイアトニックコードとコードスケール テンションノートとアボイドノート
9	ダイアトニックコードの機能とコード進行 ドミナントモーション ケーデンス／前期評価課題 まとめ
10	セカンダリードミナント
11	セカンダリードミナントを用いたメロディーのアプローチ
12	セカンダリードミナントを用いたコードアレンジ
13	マイナーキー ナチュラルマイナースケールとダイアトニックコード
14	ハーモニックマイナー・メロディックマイナーのスケールとダイアトニックコード
15	マイナーキーを用いた楽曲制作練習
16	モーダルインターチェンジを用いた楽曲制作練習
17	後期評価課題 まとめ
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲音楽理論Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	1年次に習得したポピュラー音楽理論を踏まえ、より深い理解への到達と作新たな音楽理論の知識を習得してもらう。楽譜による譜例紹介及びポピュラー楽曲の分析などを行い音楽理論への理解を深めていく。各回で音楽理論についての講義を行い、その後実践として紹介した音楽理論を利用した短い曲を各自DAWソフトウェアで制作してもらう。また、知識の定着を図るため適宜テキストの問題演習も行う。各期最終回に期末筆記考査を行う。作曲・編曲や楽曲分析の一助として活用してもらうことが最終的なねらいである。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／①-1 テンション／テンションの名称と分類、テンション・コード、テンション・リゾルブ
2	①-2 テンション／テンション・サウンドの基本的な構成、アレンジ上のボイスン
3	②-1 平行・同主調関係と特殊な実用和音／平行・同主調間転調（音階和音内）、短調での特殊な実用和音
4	②-2 平行・同主調関係と特殊な実用和音／サブドミナント・マイナー・コードとその代理和音
5	③-1 セカンダリー・ドミナント・コード／セカンダリー・ドミナント・コードの特殊な用法、広い意味でのトゥー・ファイブ
6	④-1 代理和音／トニック、サブドミナント、ドミナント・コードの代理和音と偽終止
7	④-2 代理和音／トニック、サブドミナント、ドミナント・コードの代理和音と偽終止
8	⑤-1 経過和音／パッシング・ディミニッシュ・コード
9	期末考査
10	後期授業概要説明、ガイダンス／① 経過和音／平行和音、変化和音、ドミナント・モーションの応用
11	②コード・スケールについて、チャーチ・モード・スケール、スケールの相互関係
12	③ディミニッシュ・スケールとディミニッシュ・コード／2種のディミニッシュ・スケール
13	④ドミナント・スケール／ドミナント7thスケールとオルタード・ドミナント・スケール、ドミナント・スケールの相互関係
14	⑤その他のスケール／ペンタトニック・スケール、ブルース・スケール、クロマティックスケール、その他民族的スケール
15	⑥調性に基づくコード・スケールの考え方／テンション・ノートとアボイド・ノート
16	⑦代理関係に基づくコード・スケールの考え方／アボイド・ノートの共通性
17	⑧後続するコードに基づくコード・スケールの考え方
18	期末考査
19	

教科書等	「ポピュラー音楽理論」北川祐 編著、リットーミュージック出版 「決定版 音楽理論ワークブック」北川祐 編著、リットーミュージック出版 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末筆記考査60%、制作課題20%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	和声学&オーケストレーション		実務授業の有無	○
担当講師	野瀬 珠美	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	選択必修	
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	オーケストレーションを行うにあたり、特に重要な役割を担う弦楽器群の扱い方を学び、その際に最も必要になってくる和声学を中心に学習する。
------	--

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	基本位置3和音の配置と連結
2	↓
3	和音設定(和音機能・カデンツ・終止形)
4	↓
5	各調での連結
6	3和音の第1転回位置を含む連結
7	3和音の第2転回位置を含む連結
8	↓
9	復習
10	7の和音(基本形)を含む連結
11	7の和音(第1転回)を含む連結
12	7の和音(第2転回・根音省略形)を含む連結 ・ 木管楽器の概要
13	↓
14	9の和音(基本形)を含む連結 ・ 金管楽器の概要
15	9の和音(転回形)を含む連結
16	↓
17	9の和音(根音省略形)を含む連結 ・ その他の楽器の概要
18	復習
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	2010年より国際音楽エンタテインメント専門学校、2005年より新潟県立新潟中央高等学校非常勤講師(ソルフェージュ・音楽理論)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲制作実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	授業内で習得した音楽理論、ミキシングの技術をもとに、コンペティションなどを想定した楽曲の制作にあたる。課題を提示したり、自己の目標を立て授業を行っていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、課題確認、目標確認
2	課題曲① 制作
3	課題曲① 制作
4	課題曲① 発表
5	課題曲② 制作
6	課題曲② 制作
7	課題曲② 制作
8	課題曲② 発表
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション、課題確認、目標確認
11	オリジナル楽曲制作
12	オリジナル楽曲制作
13	オリジナル楽曲制作
14	オリジナル楽曲制作
15	オリジナル楽曲制作
16	オリジナル楽曲制作
17	オリジナル楽曲 発表 講評・後期まとめ
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲制作実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一耀		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	授業内で習得した音楽理論、ミキシングの技術をもとに、コンペティションなどを想定した楽曲の制作にあたる。課題を提示したり、自己の目標を立て授業を行っていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、課題確認、目標確認
2	課題曲① 制作
3	課題曲① 制作
4	課題曲① 発表
5	課題曲② 制作
6	課題曲② 制作
7	課題曲② 制作
8	課題曲② 発表
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション、課題確認、目標確認
11	オリジナル楽曲制作
12	オリジナル楽曲制作
13	オリジナル楽曲制作
14	オリジナル楽曲制作
15	オリジナル楽曲制作
16	オリジナル楽曲制作
17	オリジナル楽曲 発表 講評
18	後期まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」OP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	ミキシングの基礎を学び楽曲の構造や演出の理解を深める。 基本的なプラグインの使い方を学び、デモ音源・楽曲のクオリティを最大限に高める手法を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 データ形式やミキシングについての基礎知識
2	参考トラックを用いたミキシング ヴォリュームとパン
3	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・コンプレッサー/ゲート
4	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽器別の周波数の特性)
5	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽曲全体での周波数の特性)
6	参考トラックを用いたミキシング AUXトラック、オートメーション、プラグイン・リバーブ、ディレイ
7	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・マキシマイザー、リミッター
8	課題トラックのミキシング ミックスダウン
9	課題提出 まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨
11	プラグインの使い方の応用 複数のプラグインの組み合わせ サイドチェイン
12	マスタリングについての基礎
13	MIDIトラックの書き出し方
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング
16	オリジナル曲のミキシング
17	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
18	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	レコーディング実習と連携し、学生作品のミキシングを行い、レベルを上げていく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 1年次の復習
2	オリジナル曲のミキシング
3	オリジナル曲のミキシング
4	オリジナル曲のミキシング
5	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
6	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
7	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
8	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
9	前期まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨 前期の復習
11	オリジナル曲のミキシング
12	オリジナル曲のミキシング
13	オリジナル曲のミキシング
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング
16	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
17	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
18	後期まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲アナライズⅠ		実務授業の有無	×
担当講師	金 相 範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	編曲のクオリティー向上のため、様々な楽曲を分析しアレンジ方法を真似することで、そのスキルを自分のものにしていく。あらゆる楽器の音域・奏法などを実際耳で感じながらパソコンで再現できるよう学んでいく。DAWの基本的な操作方法も身につけ、グランドコンサートでの同期セッション作りができるよう学習する。前期は主に「楽器毎の奏法学習とそれの聴き取り」、後期は「1曲を選曲し全楽器耳コピー実習」をメインとして学んでいく。この授業の目標は、最終的にプロの曲を1曲選んで、自分で再現し、その曲内に使われているあらゆる技術を習得することである。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の内容・目標・グランドコンサートでの作曲編曲コースの役割を説明。 DAWの基本操作習得と、ヴォーカルラインを聴き取りMIDI入力を練習する。
2	ベースの音を聴き取り、再現する。 ベースのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
3	ドラムの太鼓系の音を聴き取り、再現する。 ドラムのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
4	ドラムの金物系の音を聴き取り、再現する。
5	ピアノの音を聴き取り、再現する。 ピアノのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
6	ヴァイオリンの音を聴き取り、再現する。 ヴァイオリンのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
7	エレキギターの音を聴き取り、再現する。 エレキギターのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
8	管楽器の音を聴き取り、再現する。 3種類の管楽器のフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
9	シンセの音を聴き取り、再現する。 シンセのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
10	パッドの音を聴き取り、再現する。 パッドのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
11	各自1曲を選び、耳コピー作業を開始する。 セッション作りや、Tempo、マーカとトラック設定など基本的なセッティングを確認しアドバイス。
12	耳コピー実習をする。 ベースラインの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
13	耳コピー実習をする。 ドラムの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
14	耳コピー実習をする。 パーカッションの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
15	耳コピー実習をする。 高域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
16	耳コピー実習をする。 中域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
17	耳コピー実習をする。 全体的なミキシングバランスとリバーブを確認しアドバイス。
18	耳コピー実習をする。 今までの作業内容を総合的に確認し、楽曲を完成できるようアドバイス。
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲アナライズⅡ		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	編曲のクオリティー向上のため、様々な楽曲を分析しアレンジ方法を真似することで、そのスキルを自分のものにしていく。あらゆる楽器の音域・奏法などを実際耳で感じながらパソコンで再現できるよう学んでいく。主に3和音と4和音のコードを、楽器ごとに聴き取る練習をしながら、プロの楽曲に使われるコード進行も習得する。この授業の目標は、最終的にプロの曲を自分で再現し、その曲内に使われているあらゆる技術を習得しながら、音の密度とコードへの理解を高めることである。			
------	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	耳コピー実力確認。 短い楽曲を耳コピーし、一人一人の実力チェック。
2	ベース応用編。 スラップ・スライドの再現、速弾きベースフレーズの耳コピー実習。
3	ドラム応用編。 ドラムの復習と打楽器系の耳コピー実習。
4	ピアノ応用編。 ピアノとキーボードの3和音・4和音の耳コピー実習。
5	エレキギター応用編。 コード引きの耳コピー。2本以上のギターの耳コピー実習。
6	弦楽器応用編。 ヴァイオリンの奏法復習。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの耳コピー実習。
7	管楽器応用編。 4種類以上の管楽器の耳コピー実習。
8	シンセとパッド系応用編。 短い楽曲再現。
9	マレット及び民族楽器応用編。 短い楽曲再現。
10	各自1曲を選び、耳コピー作業を開始する。 セッション作りや、Tempo、マーカーとトラック設定など基本的なセッティングの確認。
11	耳コピー実習をする。 ボーカルラインとコーラスを確認しアドバイス。
12	耳コピー実習をする。 ベースラインの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
13	耳コピー実習をする。 ドラムの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
14	耳コピー実習をする。 パーカッションの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
15	耳コピー実習をする。 高域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
16	耳コピー実習をする。 中域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
17	耳コピー実習をする。 全体的なミキシングバランスとリバーブを確認しアドバイス。
18	耳コピー実習をする。 今までの作業内容を総合的に確認し、楽曲を完成できるようアドバイス。
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	メロディメイキングⅠ		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一輝	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	楽曲コンペに通過するにあたり一番重要な「メロディ」について徹底的に研究する。 実践を通し、コンペに受かりやすいメロディの制作技術を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、DAWの紹介、講師実績紹介
2	コンペ情報紹介、「売れるメロディ」の共通点とは
3	メロディ制作
4	メロディ制作
5	メロディ制作
6	楽曲制作
7	楽曲制作
8	楽曲制作
9	課題提出、まとめ
10	後期授業概要説明
11	メロディ制作
12	メロディ制作
13	メロディ制作
14	楽曲制作
15	楽曲制作
16	楽曲制作
17	楽曲制作
18	課題提出、まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」OP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	メロディメイキングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一輝	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	楽曲コンペに通過するにあたり一番重要な「メロディ」について徹底的に研究する。 実践を通し、コンペに受かりやすいメロディの制作技術を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、DAWの紹介、講師実績紹介
2	コンペ情報紹介、「売れるメロディ」の共通点とは
3	メロディ制作
4	メロディ制作
5	メロディ制作
6	楽曲制作
7	楽曲制作
8	楽曲制作
9	課題提出、まとめ
10	後期授業概要説明
11	メロディ制作
12	メロディ制作
13	メロディ制作
14	楽曲制作
15	楽曲制作
16	楽曲制作
17	課題提出、まとめ
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」OP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アレンジメント		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	編曲に必要な楽器のアレンジ、トラックごとのMIDIでの打ち込み方を学ぶ。 基本的なアプローチをレクチャーし、個性に合わせた応用方法を提示することにより質の高いオリジナル楽曲の制作へ発展させる。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 編曲についての基本知識
2	リズム楽器のアレンジ(ドラムス)基礎
3	リズム楽器のアレンジ(ドラムス)応用
4	コード楽器のアレンジ(ピアノ)基礎
5	コード楽器のアレンジ(ピアノ)応用
6	低音楽器のアレンジ(ベース)基礎
7	低音楽器のアレンジ(ベース)応用
8	コード楽器のアレンジ(ギター)基礎
9	コード楽器のアレンジ(ギター)応用
10	後期動機づけ 授業の趣旨
11	パッド系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ)基礎
12	パッド系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ)応用
13	リード系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ・ギター)基礎
14	リード系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ・ギター)応用
15	サウンドエフェクト系トラックの制作
16	楽曲の構成・展開・演出
17	課題曲制作 / 後期まとめ 課題曲提出
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	シンセサイザー概論		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／通信制コース

授業概要	シンセサイザーの基礎知識から、シンセサイザーソフトを使用した音作りを学んでもらう。初回は講義形式で音やシンセサイザーの基礎知識と仕組みを紹介する。その後はシンセサイザー・ソフトウェアである「UVI Falcon」を用いて各自シンセサイズの実習を行う。様々なシンセサイザーの音色レシピーを具体的に紹介し、指定した音色を作成する課題に取り組む。最終的には目的の音をシンセサイザーを使って作れるようになること、さらに楽曲制作におけるシンセサイザー・アレンジを行えるようになる事を目標とする。			
------	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／シンセサイザーの基礎知識とシンセサイザーの仕組み
2	基本波形とその種類、オシレーター、フィルター、アンプリファイア
3	シンセサイズの波形変調／エンベロープ(ADSR)とLow Frequency Oscillator(LFO)
4	「UVI Falcon」の使い方紹介
5	オシレーター部の解説／作成課題①: ベル(Bell)トーン
6	フィルター、アンプリファイア部、ボイスイングの解説／作成課題②: Van Halen「JUMP」のシンセ・パッド
7	エフェクト部の解説／作成課題③: Europe「The Final Countdown」のシンセ・プラス
8	LFO部の解説／作成課題④: EDMのワブル・ベースサウンド(シンセ・ベース)
9	シンク・オシレーターとFM変調の解説／作成課題⑤: エレキギター風のシンセ・リード
10	後期授業概要説明、ガイダンス／DTMにおけるシンセサイザー・ソフトウェアの種類及びディベロッパーについて
11	作成課題①: 効果音「嵐の音」(ノイズ・オシレーターとフィルターの使用)
12	作成課題②: 宇多田ヒカル「automatic」のサイン波リード
13	モジュレーション・エンベロープについて／作成課題③ピッチエンベロープによる上昇と下降の効果音
14	作成課題④: Perfume「チョコレート・ディスコ」イントロのpluck synth
15	作成課題⑤: アレンジに合わせたシンセベースサウンド
16	楽曲中におけるシンセサイザー・アレンジの手法とその研究
17	シンセサイザーを取り入れたオリジナル楽曲の制作
18	
19	

教科書等	講義スライド「シンセサイザー概論」(講師制作) 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。